

る向きもある一方で、ある大手問屋は「新塊価格が弱含んでいるので、ウ物スクラップは5円くらいの下げになっても仕方ないと思っている。UBCもウ

ワ物に準ずるような形で、このまま新塊がダレ続ければ、週明けにも引き下げの可能性さえあるのでは」と話した。

日 鋳
金 属

銅建値3万円引き下げの63万円 平均建値は63万6,300円に

日鋳金属は5日、電気銅建値を3万円引き下げの63万円とし、同日から実施すると発表した。

これは海外相場が統落していることを受けてのもので、このまま建値に変更が無ければ平均建値は63万6,300円となる。

5日入電のLME銅相場がセツルメントで6,571ドル、5日発表のTTSドル90.63円で換算した採算価格は59万5,500円、諸掛りは3万4,500円になる。

今年の建値推移は次の通り。

(キロ当たり円、カッコ内は改定日)

1月 = 730(4) 750(7) 720(14)	
730(20) 720(26)	平均 730
2月 = 660(1) 630(5)	平均 636.3

日本伸銅・東京支店 新住所のお知らせ

日本伸銅・東京支店は2月15日(月)より新住所に移転し、業務を開始する。

住所は以下の通り。

新住所: 〒130-0013

東京都墨田区錦糸1-2-1

アルカセントラル5階

TEL: 03-6456-1410

FAX: 06-6456-1412

チリ: コデルコのArellano総裁、3月で辞任を表明

コデルコのJosé・Pablo・Arellano総裁は、次期大統領に選出されたセバ스티アン・ピニェラ氏が3月に大統領に就任する時点で、総裁職を辞任すると共に、同社の新役員メンバーにも残らない意向を述べた。

同氏は「私は総裁としても役員としてもコデルコに残るつもりはない。私は既に職務はやり遂げた。」と語った。

新大統領が執務を取る際に同社のトップが交代するのは恒例であるが、最近の報道では4年前にMichelle・Bachelet現大統領により任命されたA同氏がコデルコに留まるのではないかとの憶測が流れていた。

中道右派のピニェラ次期大統領は、20年前にチリが民主主義国家に戻って以来、左派Concertacion連立政権に属さない初の大統領となる。

2010年の同社の投資計画額として既に23億US

ドルが計上されており、新政権がこれを修正することはないものと見られてはいるが、1月18日、3月に新大統領に就任するピニェラ氏が同社の抜本的改革について言及しており、今後の対応が注目される。

電 線 ・ ケ ー ブ ル

ご一報の上お越し下さい

ナゲット加工

大栄テック(有)

(国道163号線に面す)

〒575 四条畷市大字中野541

-0052 電話 072-878-5115



1月のアルミスクラップ月刊レポートと2月の見通し 橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

スクラップ輸入83%増
トヨタショックの行方は

概況: 前半は好調な米・中のISM指数やPMI指数を好感、またロシア・中国の豪雪によるアルミ

供給懸念からLMEが100ドル程度上昇明るいスタートとなった。後半も好調な中国自動車生産、それに伴う上海シグマD12Sの2300ドル突破やロシア塊の2000ドル突破を受け代替品需要が急増。代替品アルミスクラップの収集にメーカー

はなりふり構わず、1-2万円の大高となった。

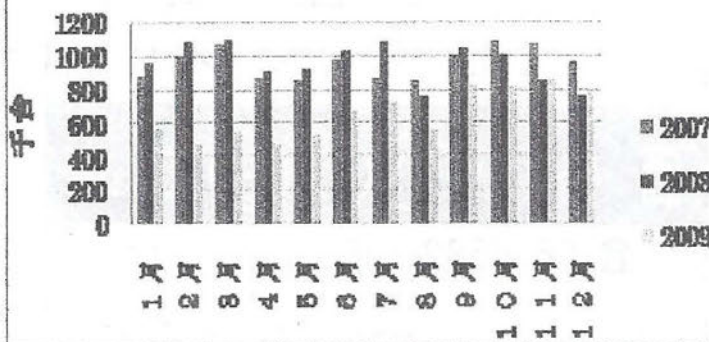
12月のマクロ指標:日本自動車工業会発表によると、自動車生産台数は前月比8%減の78万8,067台(前年の前月比15%減)。また国土交通省発表の新設住宅着工戸数は同1.6%増の6万9,298戸数であった(前年の前月比14%減)。次に貿易関連指標は、財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金で前月比70%増の132トン、2次合金で同59%増の3,136トン、スクラップは同40%増の1万2,521トン、輸入は新地金で前月比19%増の14万4,971トン、2次合金で1%増の7万4,718トン、アルミスクラップは83%増の694トン、2次合金原料としての需要が多い合金スクラップは1.3%増の4,539トンであった。

12月の国内指標:日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前月比3.2%減の16万193トン(前年前月比18%減)。日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績は

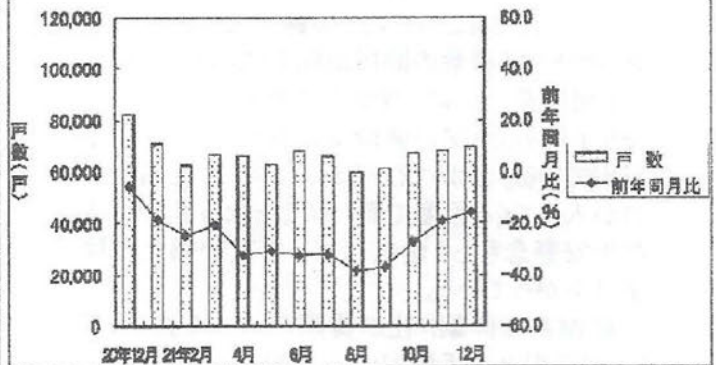
前月比7%減の6万5,331トンであった(前年の前月比31%減)。

見通し:12月は自動車生産・圧延品生産とも季節要因で前月比ではマイナスとなったが、前年の前月比からはるかに改善されており回復期待はまだまだ強い。貿易は2次合金メーカーの値上げ不足から価格が高い中国へのアルミ輸出が40-70%の大高増となった。アルミスクラップ輸入に関しても国内在庫の逼迫感から前月比で83%増と大高増となった。LME価格については金融緩和プログラムが予定どおり行われ、商品全般で2月1日現在、大幅下落となったが価格が需給に左右されるアルミスクラップに関しては2月1日現在、前月比横ばいと下げる要素が見当たらない。また国内原料はほとんどなく、また上海シグマ、ロシア塊、等の輸入も値下げの要素が見当たらないことから原料争奪戦は継続、2月後半でもう5円上げと予測。

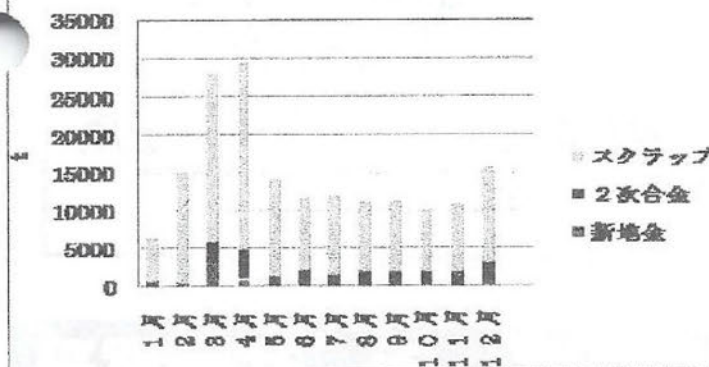
自動車生産実績



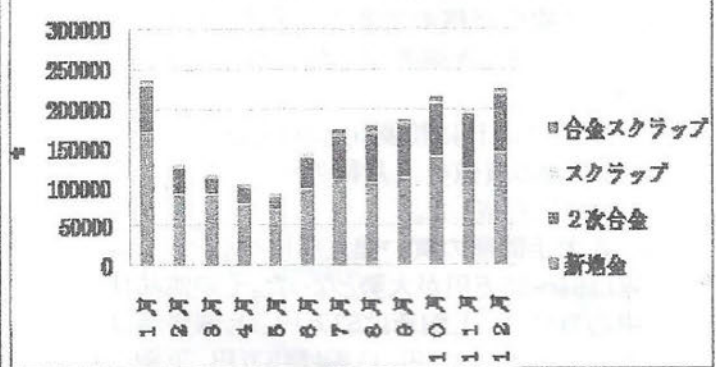
新設住宅(戸数・前年同月比)



09年アルミ輸出推移



09年アルミ輸入推移



アルミ2次合金等生産実績

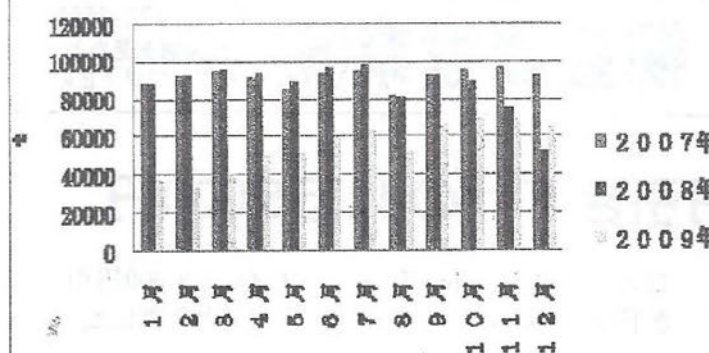


図3 板類+押出類 出荷量推移

